

Ｊリーグサッカーに関する意識調査の分析 —Ｊリーグ人気について

吉田 勝志*, 西田 保**, 天野 彰夫***

An Analysis of the Consciousness-survey concerning The J-LEAGUE Soccer —Mainly on the Public Favor of The J-LEAGUE

Katsushi YOSHIDA*, Tamotsu NISHIDA** and Akio AMANO***

(Received May 31, 1995)

This survey to analyze the student's consciousness concerning The J-LEAGUE Soccer mainly on the Public Favor of The J-LEAGUE, using as subjects soccer club members belonged to the 1st and 2nd class of the Tokai College Soccer League, by means of the questionnaire method, shows as follows:

- (1) 88.1 % of all members are looking forward to the opening The J-LEAGUE, and more than 80 % long to watch the opening games directly at the stadiums or on TV.
- (2) Respondants' interests are focussed on the following; aggressiveness before the goal-post, dribbles or assisting-passes leading to a goal, the play action of the game itself, and especially foreign players' highly levelled plays.
- (3) Team characters in respondants' favor depend upon 1. FWs' abilities to get goals, 2. MFs' splendid skill and speed especially in ball-passing. In addition, through descriptive-inquiry, respondents show rather strong attachment for their home teams. And their favorite players are excellent in 3 elements; skill, speed, and sense.

Consequently, the reason for J-LEAGUE Soccer's public favor seems to be 1. soccer is interesting in itself, 2. each of the teams has its own hometown and can be actually seen on the field or on TV, and 3. there are the world-famous players such as Littbarski and Gico, and Japanese star players as Kazu and Fukuda.

キーワード：サッカー，Ｊリーグ，学生，意識，人気の要因

1. はじめに

わが国のサッカーがよく行われるようになったのは、明治 37 年（1904 年）にイギリス人のデ・ハビランドという英語教師が東京高等師範学校に着任し、指導奨励に当たってからだといわれている。その後師範系の学校で

*健康科学教室 (Department of Health Sciences)

**名古屋大学総合保健体育科学センター (Research Center of Health, Physical Fitness and Sports, Nagoya University)

***愛知教育大学体育教室 (Aichi University of Education, Physical Education)

盛んに行われるようになり、卒業生が全国的に広がってサッカーを教えることにより普及されてきた¹⁾。このように、日本では従来からサッカーや他のほとんどのスポーツが、学校の課外教育活動を寄り所として発展してきた。そのため、日本のスポーツ界にはアマチュアリズムが根強く定着し、長らくその精神が指導者らによって受け継がれてきた。

ところが、わが国サッカー界の長年の夢であったプロフェッショナル・スポーツとして、サッカーのJリーグが多くの人々の期待を背負って1993年5月に設立発足した。これは、トップレベルの変革であるが、地域に根ざしたプロチームを頂点とし、少年から大人まで、市民スポーツからチャンピオンズスポーツまでを含んだ、サッカー構造そのものの変革を目指すものだといわれている²⁾。

折りしも、前年10月に行われたワールドカップ・アジア地区予選最終戦で、イラクと対戦した日本代表チームが終了間際に同点とされ、アジア代表の座を逃したことから、人々の絶望がJリーグに対する新たな期待へと増幅され、爆発的なJリーグ人気を惹起したようである。サッカー界のみならず、スポーツ界全体に大きなインパクトを与えたJリーグの存在は、学校スポーツとしてサッカーを継続している学生や生徒らの意識に対して、今後様々な影響をおよぼすものと考えられる。

そこで筆者らは、東海大学サッカー連盟1・2部リーグ所属のサッカー部員を対象として、主に(1)Jリーグ人気の秘密、(2)Jリーグから参考になったこと、および(3)Jリーグへの今後の期待等についてアンケート調査を行った。今回は、それらのうちから特に(1)の「Jリーグ人気」について検討するものである。なお、学術情報センターのサービスネットを利用して文献検索を行ったが、プロフェッショナル・スポーツに関するこのような研究資料はほとんど見当たらない。

本研究の目的は、Jリーグに関するサッカー部学生の意識を確かめるとともに、その結果を学生指導の資料とすることである。

2. 研究方法

(1) 調査期間

1993年度Jリーグ第1ステージの終了した8～9月。

(2) 調査対象者

本調査の対象者は、1992年度東海大学サッカー連盟1・2部リーグ所属チームのサッカー部員計422名である。調査用紙のフェースシート部に書かれた、彼らのサッカーに関する基礎的属性は、以下に示す通りであった。

- a. リーグ別：1部リーグ所属 7チーム 183名 (43.4%)、2部リーグ所属 8チーム 239名

(56.6%)、計 422名 (100%)。

- b. 年齢：18～23才、平均値±標準偏差 20.0±1.2才。
c. 学年別：1年生 139名 (32.9%)、2年生 119名 (28.2%)、3年生 109名 (25.8%)、4年生 55名 (13.0%)、計 422名 (100%)。
d. ポジション別：ゴールキーパー GK34名 (8.1%)、ディフェンダー DF 157名 (37.2%)、ミッドフィルダー MF 131名 (31.0%)、フォワード FW 100名 (23.7%)、計 422名 (100%)。
e. 試合出場頻度別：ほとんど出ている 124名 (29.4%)、ときどき出ている 129名 (30.6%)、ほとんど出していない 169名 (40.0%)、計 422名 (100%)。
f. サッカー開始年齢別：10才 98名 (23.0%)、9才 62名 (15.0%)、11才 41名 (10.0%)、13才 38名 (9.0%)、その他 183名 (43.4%)、計 422名 (100%)。
g. サッカー経験年数別：10年 64名 (15.0%)、9年 47名 (11.0%)、12年 42名 (10.0%)、11年 41名 (9.7%)、その他 228名 (54.0%)、計 422名 (100%)。

(3) 調査内容および調査項目

アンケートの調査内容および調査項目については、あらかじめサッカー部員(約30名)および一般学生(約150名)に対しJリーグについての興味、意見、疑問、感じたこと、知りたいこと等に関する基礎的調査を行い、それらの中から特に(1)Jリーグの人気の秘密に関する9項目、(2)Jリーグから参考になったことに関する15項目、およびJリーグの今後に期待することに関する8項目を選定し、計32項目で作成した(付表1参照)。また、それらの末尾には補足調査のために記述式回答欄を設けた。しかし、今回は、前述のように(1)の「Jリーグ人気」についてのみを分析の対象とした。各調査項目の選択肢については、1全くあてはまらない、2あまりあてはまらない、3ややあてはまる、および4よくあてはまる、の4段階とし、最適回答の番号に○をつけさせた。なお、調査は無記名回答である。

(4) 統計処理および検定方法

本調査の統計処理は、各回答の選択肢の番号1～4をスコア化し、調査対象者の①全体、②(2)a. リーグ別および③(2)e. 試合出場頻度別に行った。また、①における調査項目相互の平均値の有意差検定、および②と③における同一項目間の対象群別平均値の有意差検定については、 X^2 -検定を用いた。

(5) 平均値の判定基準

統計処理後のスコアの平均値は、次のような基準で判定、表現することとした。すなわち、スコア1.5未満「たいへん低い」、スコア1.5～2未満「かなり低い」、スコア

2～3未満「普通である」、スコア3～3.5未満「かなり高い」、スコア3.5以上「たいへん高い」である。

3. 結果および考察

研究方法の(4)に示した②1部と2部のリーグ別調査結果については、各項目間に有意な差が認められなかった。したがって、本稿では①調査対象者全体(422名)の結果を中心に、③試合出場頻度別にみた結果を含めて検討することとした。

まず、設問1)～3)では試合の開幕、テレビ観戦および会場における直接観戦等、Jリーグに対する期待感について尋ねた(表1)。表より、1)Jリーグの開幕が待遠しかったとの間に対しては、4よくあてはまるとする回答者が46.9%と最も多く、次いで3ややあてはまる41.2

%, 2あまりあてはまらない9.0%, 1全くあてはまらない2.8%の順であった。よくまたはややあてはまると答えた者を併せると、全体の88.1%がJリーグの開幕を期待していたことになり、スコアの平均値は(3.322)とかなり高い値であった。同様に、2)Jリーグの試合を毎回テレビでみるのが楽しみである(3.166)、および3)お金を出してでもJリーグの生の試合がみたい(3.204)とする間に対しても、よくまたはややあてはまると答えた者が80%以上を占め、スコアの平均値は3.0を上回るかなり高い値であった。したがって、本調査の対象者らは、かなり多くの者がJリーグの開幕、或いはJリーグの試合をテレビや会場で観戦することについて期待していたと言えよう。一方、試合の出場頻度別に見た場合、1)Jリーグの開幕が待遠しかったかとの間に対し、レギュラ

表1 1)～3) Jリーグについての一般的感想

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1) 開幕が待遠しかった (%)	12 2.8	38 9.0	174 41.2	198 46.9	422 100	3.322	0.755
2) テレビでみるのが (%)	15 3.6	50 11.8	207 49.1	150 35.5	422 100	3.166	0.768
3) 生の試合がみたい (%)	22 5.2	54 12.8	162 38.4	184 43.6	422 100	3.204	0.856

表2 4) Jリーグの試合で関心を持つてみることは

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 チーム全体のゲーム (%)	9 2.1	25 5.9	197 46.7	191 45.3	422 100	3.351	0.689
2 攻撃面 (%)	3 0.7	30 7.1	171 40.5	218 51.7	422 100	3.431	0.657
3 守備面 (%)	5 1.2	74 17.5	219 51.9	124 29.4	422 100	3.095	0.713
4 個々の選手のプレー (%)	6 1.4	45 10.7	182 43.1	189 44.8	422 100	3.313	0.717
5 好きな選手のプレー (%)	15 3.6	65 15.4	172 40.8	170 40.3	422 100	3.178	0.818
6 監督の采配 (%)	93 22.0	217 51.4	80 19.0	32 7.6	422 100	2.121	0.837
7 審判の判定 (%)	104 24.8	182 43.1	108 25.6	28 6.6	422 100	2.142	0.866

ーとして1ほとんど出ている群(124名, 以下同様)の平均値 3.516 ± 0.681 は, 3ほとんど出していない群(169名, 以下同様)の平均値 3.189 ± 0.802 に比して有意 ($p < 0.01$) に高かった。そして, その傾向は2) テレビでみるのが楽しみ ($p < 0.001$) および3) 生の試合がみたい ($p < 0.05$) についても同様であった。これらの結果, Jリーグに対する期待感は, 一般にレギュラー選手の方が非レギュラー選手に比べて高いことが明らかである。このことは, Jリーグの試合から自らの練習や試合に役立つようなプレーを学ぼうとする意識が, レギュラー選手により高いことを示唆するものであろう。

設問4)は, Jリーグの試合における興味や関心がどのような点にあるのかを確かめようとしたものである。表2に示すように, 7項目中スコアの平均値から見たベスト3は, 1位が(2)攻撃面(3.431), 2位が(1)チーム全体のゲーム展開(3.351), 3位が(4)個々の選手のプレー(3.313)であり, 何れもかなり高い値であった。攻撃面(3.431)と守備面(3.095)とを比較すると, 前者の平均値が有意 ($p < 0.001$) に高く, 明らかに守備面より攻撃面に対する関心の強さが伺われた。一方, (6)監督の采配(2.121)や(7)審判の判定(2.142)等に関する平均値は普通であり, 選手達にとってそれ程関心は無いようである。また, (4)個々の選手のプレー(3.313)と(5)好きな選手のプレー(3.178)とでは, 前者に対する関心が有意 ($p < 0.05$) に高かった。これらのことから, 選手達の試合への関心は, 先ず攻撃面であり, その際個々の選手がどういったプレーや動きをするかとともに, 特に好きな選手に期待を抱いて見ると言う図式が推察される。ま

た試合の出場頻度別にみた場合, 平均値に有意差の示された項目は(1)チーム全体のゲーム展開と(3)守備面との2つであり, 何れもほとんど出ている群がほとんど出していない群より高かった。このような出場頻度別の差は, レギュラー選手が非レギュラー選手に比べ試合のより細部にわたり, また自分のポジションを踏まえたより専門的な見方をするることによるものであろう。

設問5)は, Jリーグの試合でどのような点が面白いと感じるのかについて尋ねたものである。表3より, スコアの平均値からみた順位は, たいへん高い値の示された(3)選手たちのいいプレーが出たとき(3.562)が1位で, 2位(4)外人選手によって世界のプレーがみられる(3.474), 3位(6)意外性のあるプレーがみられるとき(3.301)であった。このように, 特に外人選手の卓越した世界に通用するプレーや, 彼らを含めた個々の選手の意外性あるしかもいいプレーが見られた時に, サッカーの面白さを感じるようである。そして(4)選手たちのいいプレーをみる(3.562)ことに比べ, (5)好きな選手のプレーをみる(3.237)ことは, 平均値が有意 ($p < 0.001$) に低いことから, 一義的な関心事ではないことが理解できよう。

設問6)は, Jリーグの試合で感動することについて尋ねた(表4)。表より, 7項目中1位はたいへん高い平均値の示された(1)得点シーン(3.545)であり, 次いで(4)アシストパス(3.424), および(5)ドリブルで守備選手をこぼす(3.206)等の順であった。平均値(1)と(4)の間には5%水準で, また(4)と(5)の間には0.1%水準で有意差が認められた。これらのことから, 試合

表3 5) Jリーグの試合で面白いと感じることは

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 観客と一体の雰囲気 (%)	31 7.3	117 27.7	187 44.3	87 20.6	422 100	2.782	0.855
2 応援の様子 (%)	57 13.5	176 41.7	143 33.9	46 10.9	422 100	2.422	0.857
3 いいプレーが出たと (%)	4 0.9	16 3.8	141 33.4	261 61.8	422 100	3.562	0.616
4 世界のプレーがみら (%)	3 0.7	31 7.3	151 35.8	237 56.2	422 100	3.474	0.663
5 好きな選手のプレー (%)	8 1.9	56 13.3	186 44.1	172 40.8	422 100	3.237	0.749
6 意外性のあるプレー (%)	6 1.4	58 13.7	161 38.2	197 46.7	422 100	3.301	0.756

表4 6) Jリーグの試合で感動することは

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 得点シーンである (%)	5 1.2	23 5.5	131 31.0	263 62.3	422 100	3.545	0.655
2 GKのプレーである (%)	15 3.6	106 25.1	194 46.0	107 25.4	422 100	2.931	0.802
3 ゴール前の競り合い (%)	16 3.8	117 27.7	211 50.0	78 18.5	422 100	2.832	0.766
4 アシストパスである (%)	5 1.2	31 7.3	165 39.1	221 52.4	422 100	3.427	0.681
5 ドリブルでごぼう抜 (%)	9 2.1	60 14.2	188 44.5	165 39.1	422 100	3.206	0.760
6 得点した選手の表情 (%)	31 7.3	146 34.6	169 40.0	76 18.0	422 100	2.687	0.851
7 監督の指示や表情 (%)	98 23.2	220 52.1	82 19.4	22 5.2	422 100	2.066	0.795

表5 7) Jリーグで最も好きなタイプのチームの特色は

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 攻守のバランスがよ (%)	14 3.3	54 12.8	185 43.8	169 40.0	422 100	3.206	0.787
2 攻撃に意外性がある (%)	12 2.8	64 15.2	183 43.4	164 38.6	422 100	3.178	0.788
3 守備の組織力が高い (%)	16 3.8	74 17.5	190 45.0	142 33.6	422 100	3.085	0.811
4 ショートパスが多く (%)	12 2.8	39 9.2	193 45.7	178 42.2	422 100	3.273	0.745
5 縦パスが多くボール (%)	29 6.9	140 33.2	176 41.7	77 18.2	422 100	2.713	0.842
6 中盤の選手のボール (%)	13 3.1	36 8.5	164 38.9	209 49.5	422 100	3.348	0.764
7 FWの得点力が高い (%)	9 2.1	39 9.2	166 39.3	208 49.3	422 100	3.358	0.737
8 守備の選手の運動量 (%)	14 3.3	103 24.4	201 47.6	104 24.6	422 100	2.936	0.788
9 GKがうまい (%)	13 3.1	76 18.0	191 45.3	142 33.6	422 100	3.095	0.795

表6 一番好きなチームは

チーム名	n	(%)
1 名古屋グランパス	63	17.7
2 清水エスパルス	52	14.6
3 ヴェルディ川崎	47	13.2
4 鹿島アントラーズ	38	10.7
5 ガンバ大阪	38	10.7
6 ジェフ市原	33	9.3
7 横浜マリノス	32	9.0
8 浦和レッズ	17	4.8
9 サンフレッチェ広島	13	3.7
10 横浜フリューゲルス	12	3.4
11 その他	10	2.8
計	355	100

n; 回答者数

における感動は、どこからどんな方法でパスを出したりシュートを射ち(4および5)、そして得点を上げるか(1)という、主にゴール前のしかも攻撃的プレーに対して示されることが明らかである。この点は、設問4)の試合で関心を持ってみることもほぼ一致している。しかし(1)の得点シーンと(4)のアシストパスとでは、前者の平

均値が有意 ($p<0.05$) に高いことから、攻撃的プレーの中でも特に得点シーンが最も感動的なシーンであると認識する者が多い。

設問7)は、Jリーグで最も好きなタイプのチームの特色について尋ねたものである。表5の通り9問中7問に3.0以上のかかなり高い平均値が示され、最も平均値の高いのは(7)フォワードの選手の得点力が高い(3.358)、次いで(6)中盤の選手のボール回しが素晴らしい(3.348)、および(4)ショートパスが多く、ボール回しがはやい(3.273)等の順であった。これらの項目が好きなタイプのチームの特色として挙げられたことは、先に見た試合における関心[設問4)]や感動[設問6)]等の質問に対して示された、上位ランクの項目からみてもリーズナブルである。記述式回答についてみると、一番好きなチームは、355回答中1位が名古屋グランパス(17.7%)、2位が清水エスパルス(14.6%)、3位がヴェルディ川崎(13.2%)であった(表6)。清水と川崎については、前期リーグ戦の成績が何れも上位であり、しかも上記の項目1~3位の各内容がチームの特色としてよく現れているように思われる。グランパスについては、成績が全く思わしくなく、(5)縦パスが多くゲーム展開が大きい(平均値2.713)ことから、好きなタイプとしてはむしろ考えにくいチームである。しかし、そのグランパスがランキ

表7 8) Jリーグで最も好きなタイプの選手の特色は

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 容姿がよい (%)	101 23.9	206 48.8	87 20.6	28 6.6	422 100	2.100	0.838
2 サッカーの技術がし (%)	5 1.2	18 4.3	132 31.3	267 63.3	422 100	3.566	0.635
3 体力運動能力が高い (%)	8 1.9	60 14.2	192 45.5	162 38.4	422 100	3.204	0.749
4 ガッツがあり精神力 (%)	11 2.6	50 11.8	195 46.2	166 39.3	422 100	3.223	0.754
5 するどくひらめきが (%)	5 1.2	26 6.2	175 41.5	216 51.2	422 100	3.427	0.663
6 スピード感がある (%)	4 0.9	19 4.5	139 32.9	260 61.6	422 100	3.552	0.629
7 冷静だがやるときに (%)	5 1.2	55 13.0	188 44.5	174 41.2	422 100	3.258	0.724
8 運動量が多い (%)	8 1.9	56 13.3	202 47.9	156 37.0	422 100	3.199	0.735

表 8 一番好きな選手は

選手名	n	(%)
1 リトバルスキー	28	8.0
2 ジーコ	23	6.6
2 ラモス	23	6.6
4 三浦知良	22	6.3
4 福田正博	22	6.3
6 井原正巳	19	5.4
7 沢登正朗	10	2.9
8 磯貝洋光	9	2.6
8 リネカー	9	2.6
10 ジョルジーニョ	8	2.3
10 アルシンド	8	2.3
11 その他	168	48.1
計	349	100

n：回答者数

ング1位であり、明らかに地元球団指向が示されている。この点に、Jリーグが各チームの本拠地を定め、地域ぐるみで当球団を盛り上げようとする、フランチャイズ制を採用したことの意図が読取れるのである。したがって、Jリーグ人気の秘密の一つは、このフランチャイズ制に基づくものであると考えることができよう（表10参照）。

一方、設問8は、Jリーグで最も好きなタイプの選手

の特色はとの問である。表7に示す通り、8問中大変高いスコアの平均値が示された(2)サッカーの技術がしっかりしている(3.566)、および(6)スピード感がある(3.552)の2項目が1・2位を占め、3位が(5)鋭く閃きがある(3.427)であった。これらの結果、スキル、スピードおよびセンスの3要素がサッカー選手の三種の神器と言うことができよう。しかし、(6)と(5)の平均値間には有意差($p<0.05$)が認められたことから、中でも技術とスピードの2つが魅力ある選手の最も重要な要素となるようである。記述式調査結果では、こうした選手として349回答中1位にリトバルスキー(8.0%)、2位にジーコとラモス(各6.6%)、4位に三浦知良と福田正博(各6.3%)等が挙げられている（表8参照。）なお、(5)するどく、ひらめきがある(3.427)および(1)容姿がよい(2.100)の2項目には、試合の出場頻度別にみた場合、何れも1ほとんど出ている群の平均値が3ほとんど出していない群より有意($p<0.05$)に高かった。容姿（ファッション性）だとかプレーの閃き（感性）というような面で、非レギュラー選手よりレギュラー選手の方がこだわりが強いのであろう。

設問9は、外国人(外人)選手の活躍ぶりについての問である。表9の通り、7問中1位は大変高い平均値の示された(1)外人選手の活躍はめざましい(3.656)、次いで2位は、(5)外人選手が入ると一流のプレーがみられて幸せ(3.488)、3位は(2)外人選手が入るとチームが変わってしまう(3.329)等であった。このように、外人選手に

表 9 9) 外国人(外人)選手の活躍ぶりは

人数
(%)

項 目	1 全く	2 あまり	3 やや	4 よく	計	平均値	±SD
1 外人選手の活躍はめ (%)	2 0.5	13 3.1	113 26.8	294 69.7	422 100	3.656	0.562
2 入るとチームが変っ (%)	7 1.7	46 10.9	170 40.3	199 47.2	422 100	3.329	0.735
3 日本のレベルはまだ (%)	11 2.6	49 11.6	190 45.0	172 40.8	422 100	3.239	0.756
4 日本リーグなのに面 (%)	175 41.5	158 37.4	57 13.5	32 7.6	422 100	1.872	0.916
5 一流のプレーがみら (%)	5 1.2	23 5.5	155 36.7	239 56.6	422 100	3.488	0.656
6 日本人がもっと頑張 (%)	10 2.4	46 10.9	188 44.5	178 42.2	422 100	3.265	0.746
7 いい外人選手のいる (%)	24 5.7	112 26.5	198 46.9	88 20.9	422 100	2.829	0.821

表10 Jリーグの人気の秘密は

内 容	n	(%)
1 スタープレイヤーの存在	56	13.1
2 サッカーが元々面白いから	54	12.7
3 マスコミの影響	47	11.0
4 はやり, 流行, ブーム	42	9.9
5 有名外人選手の存在	41	9.6
5 応援効果・雰囲気	41	9.6
7 スピード感がある	34	8.0
8 日本人選手のレベルアップ	29	6.8
9 地域密着・企業色排除	17	4.0
10 ワールドカップの予選に残っていること	11	2.6
11 その他	54	12.7
計	426	100

n: 回答者数

に対する評価は、大変高く、かつ信頼感を持って見ている様子が伺える。このことは、設問 8 で見た好きなタイプの選手の順位にもよく反映されていた。これに対し、(4) 外人選手が入ると日本リーグなのに面白くない(1.872) とするような否定的な評価はかなり低い。

最後に、Jリーグの人気の秘密に関する直接的な意見を得る目的で、記述式調査結果についてまとめ、表 10 に示した。回答者が複数の内容を記述している場合もあり、全回答数は合計 426 であった。これらの回答は、KJ 法³⁾を用いて内容別に整理した。Jリーグの人気の秘密ベスト 3 は、表に示す通り 1 位スタープレイヤーの存在(13.1%)、2 位サッカーが元々面白いから(12.7%)、3 位マスコミの影響(11.0%)等であった。ここで 1 位のスタープレイヤーというのは、既に表 8 で見た国内・外の選手たちに加え、女性ファンが多い、カッコいい選手が多い、ファッション性がある等、スター性に関連する種々の内容を含めている。2 位のサッカーが元々面白いという回答には、サッカーの楽しさ、元々サッカーは人気があった、サッカーは世界で最も盛んなスポーツ、サッカーの派手さ等の意見が含まれている。また 3 位のマスコミの影響には、宣伝効果、新鮮さ、テレビでやっているから、前評判が高かったから等が含まれる。人気の 4 位は、はやり、流行、ブームとする回答である。これは、3 位のマスコミの影響と深い係わりを持つように思われる。単なるはやりやブームで終わらぬよう、Jリーグを基盤とした日本サッカー界の躍進が期待されるところである。それには、日本人選手のさらなる技術・戦術・体力等のレベルアップを促し、ワールドカップ本大会出場の常連となることが望まれよう。

今回は、Jリーグ人気の構成要因、すなわち試合での関心・興味・感動・好きなタイプのチームや選手・外人選手の評価等に対する学生選手の意識を分析することにより、Jリーグサッカーの人気の概要を捉えようとした。しかし、本研究をさらに発展させるには、このような人気の構成要因の最重要事項や構成順序等についての分析も必要であろう。

〔付記〕なお、本論文の要旨については、東海体育学会第 42 回大会〔演題「サッカーの Jリーグに対する意識調査(1)―東海学生サッカー部員(1・2 部リーグ)の結果について―」, 於皇学館大学, 平成 6 年 11 月 6 日〕において発表した。

4. 要 約

東海大学サッカー連盟 1・2 部リーグ所属のサッカー部員を対象として、質問紙法による Jリーグサッカーに関する意識調査を実施した。今回は、それらの結果から特に Jリーグ人気について分析したので、以下に要約する。

(1) 先ず、Jリーグの開幕については、全体の 88.1%の者が待ち望んでおり、また 80%以上の者がテレビや会場で観戦することを期待していた。

(2) Jリーグの試合では、攻撃面、チーム全体のゲーム展開および個々の選手のプレー等に最も高い関心が払われ、選手たちのいいプレーや外人選手の世界のプレー、そして意外性のあるプレー等が見られる時に、サッカーの面白さを感じるようである。

(3) また、試合における感動は、アシストパスやドリブルからどんな方法でシュートに結び付けるかというゴール前の攻撃的プレー、中でも得点シーンに対して示されることが多い。

(4) 好きなタイプのチームの特色は、フォワード選手の得点力が高い、中盤選手のボール回しが素晴らしい、およびショートパスを多く用いてパス回しが速い等である。しかし、記述式調査結果では、むしろ地元指向が強く見られた。

(5) 一方、好きなタイプの選手の特色は、サッカーのスキル、スピードおよびセンスの 3 要素を備えていることであった。

(6) Jリーグの人気の秘密については、元々サッカーが面白いのに加え、地元と密接な関係を持つチームがあり、そこにカズやフクダのようなスタープレイヤー或いは世界的に有名なりトバルスキーやジコ等がいて、高いレベルのいいプレー、意外性のあるプレーが、いながらにして見られるところにあるのであろう。

参 考 文 献

- 1) 多和健雄, 永嶋正俊: 写真と図解によるサッカー, 10版: p. 5, 大修館書店, 1967。
- 2) 中塚義実, 他 3 名: Jリーグに関するユースサッカー選手・指導者の意識, 第 12 回サッカー医・科学研究会報告書: pp. 83-93, 1992。
- 3) 川喜田二郎: 発想法, 16 版: 中央公論社, 1969。

補足: 調査内容について

Jリーグサッカーに対する意識調査
東海大学サッカー連盟

この調査は, 1993 年 5 月から始まった Jリーグサッカーに対して, 日頃皆さんがどのように感じているのかを調べるものです。調査の結果は, 個人的に迷惑をかけるようなことは決していたしませんので, できる限り正直に答えて下さい。

I 競技歴など

以下の項目については, () 内に記入するか, 該当するものに○をつけて下さい。

- 1) 学校名 () () 学年 年齢 満 () 才
- 2) サッカーを始めた年齢 満 () 才
- 3) サッカーの経験年数 () 年
- 4) 現在のサッカーのポジション
1 ゴールキーパー 2 ディフェンダー 3 ミッドフィルダー
4 フォワード
- 5) 試合の出場頻度
1 レギュラーとしてほとんど出ている 2 ときどき出ている
3 ほとんど出ていない
- 6) あなたのサッカーの過去最高の成績は ()

II 以下の質問については, 例にならって 1234 のいずれか該当するところに○をつけて下さい。

全は	あは	やあ	よあ
くま	まま	やて	くは
ら	ら	は	は
あな	あな	ま	ま
てい	てい	る	る

例 私はスポーツの中ではサッカーが一番好きである。 … 1 2 ③ 4

- 1) Jリーグの開幕(スタート)が待遠しかった。 … 1 2 3 4
- 2) Jリーグの試合を毎回テレビで見るのが楽しみである。 … 1 2 3 4
- 3) お金を出しても, Jリーグの生の試合がみたい。 … 1 2 3 4
- 4) Jリーグの試合で関心を持ってみることは,
 - (1) チーム全体のゲーム展開である。 … 1 2 3 4
 - (2) 攻撃面である。 … 1 2 3 4
 - (3) 守備面である。 … 1 2 3 4
 - (4) 個々の選手のプレーである。 … 1 2 3 4
 - (5) 好きな選手のプレーである。 … 1 2 3 4
 - (6) 監督の采配である。 … 1 2 3 4
 - (7) 審判の判定である。 … 1 2 3 4
- 5) Jリーグの試合で面白いと感じることは,
 - (1) 観客と一体となった試合の雰囲気である。 … 1 2 3 4
 - (2) 応援の様子である。 … 1 2 3 4
 - (3) 選手たちのいいプレーが出たときである。 … 1 2 3 4
 - (4) 外人選手によって世界のプレーがみられる。 … 1 2 3 4
 - (5) 好きな選手のプレーをみることである。 … 1 2 3 4
 - (6) 意外性のあるプレーがみられるときである。 … 1 2 3 4
- 6) Jリーグの試合で感動することは,
 - (1) シュート(得点)シーンである。 … 1 2 3 4
 - (2) ゴールキーパーのキャッチング等のプレーである。 … 1 2 3 4
 - (3) ゴール前のヘディング等による競り合いである。 … 1 2 3 4
 - (4) シュート手前のアシストパスである。 … 1 2 3 4
 - (5) ドリブルで守備選手をこぼし抜くことである。 … 1 2 3 4
 - (6) 得点した選手の喜びの表情である。 … 1 2 3 4
 - (7) 監督の指示や表情である。 … 1 2 3 4
- 7) Jリーグであなたが最も好きなタイプのチームの特色は,
 - (1) 攻撃と守備のバランスがよい。 … 1 2 3 4
 - (2) 攻撃に意外性がある。 … 1 2 3 4

- (3) 守備の組織力が高い。 … 1 2 3 4
- (4) ショートパスが多く, ボール回しは早い。 … 1 2 3 4
- (5) 縦パスが多く, ゲーム展開が大きい。 … 1 2 3 4
- (6) 中盤の選手のボール回しが素晴らしい。 … 1 2 3 4
- (7) フォワードの選手の得点力が高い。 … 1 2 3 4
- (8) 守備の選手の運動量が多い。 … 1 2 3 4
- (9) ゴールキーパーがうまい。 … 1 2 3 4

あなたの一番好きなチーム名を下の () 内に記入して下さい。

- ()
- 8) Jリーグであなたが最も好きなタイプの選手の特色は,
 - (1) 容姿(顔立ちやスタイル)が良い。 … 1 2 3 4
 - (2) サッカーの技術がしっかりしている。 … 1 2 3 4
 - (3) 体力・運動能力が高い。 … 1 2 3 4
 - (4) ガッツがあり, 精神力が高い。 … 1 2 3 4
 - (5) すどく, ひらめきがある。 … 1 2 3 4
 - (6) スピード感がある。 … 1 2 3 4
 - (7) いつも冷静だが, やるときにはやる。 … 1 2 3 4
 - (8) 運動量が多い。 … 1 2 3 4

あなたの一番好きな選手名を下の () 内に記入して下さい。

- 9) 外国人(外人)選手の活躍ぶりは,
 - (1) 外人選手の活躍はめざましい。 … 1 2 3 4
 - (2) 外人選手が入るとチームが変わってしまう。 … 1 2 3 4
 - (3) 外人選手が入ると日本のレベルはまだ低いと思う。 … 1 2 3 4
 - (4) 外人選手が入ると日本リーグなのに面白くない。 … 1 2 3 4
 - (5) 外人選手が入ると一流のプレーがみられて幸せ。 … 1 2 3 4
 - (6) 日本のサッカーだから日本人がもっと頑張してほしい。 … 1 2 3 4
 - (7) いい外人選手がいるチームが結局試合に強いような気がする。 … 1 2 3 4

- 10) Jリーグ選手になりたいと思ったことがある。 … 1 2 3 4
- 11) 実際に Jリーグ選手になれると思う。 … 1 2 3 4
- 12) Jリーグの試合でみたプレーを自分もやってみたい。 … 1 2 3 4
- 13) Jリーグでみたプレーを自分たちのチームの練習に取り入れたい。 … 1 2 3 4
- 14) Jリーグの観戦しているサッカースクールがあれば, 自分も参加したい。 … 1 2 3 4
- 15) 得点した後, 自分も Jリーグ選手のように勝利のポーズをしたい。 … 1 2 3 4
- 16) Jリーグ選手のように自分もカッコよくプレーしてみたい。 … 1 2 3 4
- 17) 自分も Jリーグ選手のようにうまくなりたい。 … 1 2 3 4
- 18) どうしたら Jリーグ選手のようにうまくなれるかと考えることがある。 … 1 2 3 4
- 19) Jリーグ選手の練習やトレーニングをみてみたい。 … 1 2 3 4
- 20) Jリーグ選手のサッカーの技術はたいへん高い。 … 1 2 3 4
- 21) Jリーグ選手の体力・運動能力はたいへん高い。 … 1 2 3 4
- 22) Jリーグ選手の精神力はたいへん高い。 … 1 2 3 4
- 23) Jリーグ選手の試合中の態度やマナーはたいへん良い。 … 1 2 3 4
- 24) Jリーグ選手の試合や練習から学ぶことが多い。 … 1 2 3 4

例えばどんなことが参考になりますか。下の () 内に記入して下さい。

- ()
- 25) Jリーグ試合のテレビ放映時間帯は今までどおりでよい。 … 1 2 3 4
 - 26) Jリーグの試合回数は, ファーストステージのように 1 チーム週 2 回でよい。 … 1 2 3 4
 - 27) Jリーグ試合の実施曜日, ファーストステージのように水曜日と土曜日でよい。 … 1 2 3 4
 - 28) Jリーグのチーム数は今までどおり 10 チームでよい。 … 1 2 3 4
 - 29) 外人選手の出場枠(ワケ)は, 今までどおり 1 チーム 3 名まででよい。 … 1 2 3 4
 - 30) 延長戦のサドンデス方式(先に得点したチームを勝ちとする)による勝敗の決定は, 目がはなせなくて面白い。 … 1 2 3 4
 - 31) Jリーグ選手は, 試合中に警告(イエローカード)を受けると発言が多過ぎる。 … 1 2 3 4
 - 32) Jリーグの審判は, 選手に警告(イエローカード)を出し過ぎである。 … 1 2 3 4

III 以下の質問に対しては, 文章でワケの中に記入して下さい。

1. Jリーグの人気の秘密は何だと思われますか。

2. あなたは, Jリーグから何を学びましたか。

3. 今後の Jリーグに期待することは何ですか。

御協力たいへん有難うございました。